

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	市民意識調査・アンケート事務				継続				
コード	19	-	23	-	01	-	00	予算事業名	広聴事務
担当部署	市民部	広聴課		広聴担当		予算事業コード	会計 10 款 02 項 01 目 02		

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	共通	協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	1節	協働によるまちづくり	個別計画等の名称	なし
施策	1	市民参加と協働の推進		
細施策	2	情報の共有化		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市内在住の満20歳以上の男女(外国籍市民を含む)3,000人を対象とする。 ・市民意識調査:行政に対する市民の意識・要望や生活環境の実態を的確に把握し、市政運営の基礎資料とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	・市民意識調査:概ね3年毎に行い、昭和56年度から10回実施している。業務委託で、郵送による配布及び回収を行い、報告書を作成する。※平成23年度は未実施。 ・市民アンケート:往復はがきによる配布及び回収を行い、分析結果を報告する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		300	2,389	300	300	2,495	
事業費	A	300	2,291	300	310	2,495	0
	B	444	666	444	444	666	0
総コスト(C=A+B)		744	2,957	744	754	3,161	0
正規職員(1年間の従事人数)		0.06人	0.09人	0.06人	0.06人	0.09人	0.00人
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(=C-D-E)		744	2,957	744	754	3,161	0

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	市民意識調査回収率	%	-	60.6	-	-	標本数に対する有効回収数の割合
活動	市民意識調査配布票数	件	-	3,000	-	-	標本数3,000人
成果	市民アンケート回収率	%	39.5	-	40.8	39.0	標本数に対する有効回収数の割合
活動	市民アンケート配布票数	件	3,000	-	3,000	3,000	標本数3,000人
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		市民意識調査は、調査依頼(18ページ程度のアンケート用紙)を郵送後に、ハガキにて督促(礼状を兼ねて、未回答の場合の回答依頼)を行っていることもあり、60%程度の回収率になっているが、市民アンケートについては往復ハガキでの依頼であることから、40%程度の回収率に留まっている。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
市民アンケートについては、事前に庁内各部署に調査項目について照会して実施している。はがきによるアンケートであるため調査項目が限られてしまうことから、担当部署として必要十分なアンケート調査を行うことができない場合も考えられる。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	市民意識調査を行っている自治体は多い。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	市民意識調査については、設問の一部が川越市総合計画の施策の指標に反映されることから、廃止した場合は、総合計画の策定に影響を及ぼす。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	改善(見直し)
市民意識調査については、川越市総合計画に反映させる必要があることから継続すべきと考え、市民アンケートについては、継続すべきかも含め方法を検討し、平成25年度廃止とした。	